経営比較分析表（令和5年度決算）

兵庫県　加西市

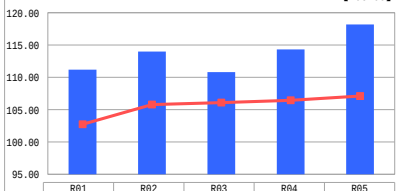
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	**自己資本構成比率(%)**	**普及率(%)**	**有収率(%)**	**1か月20m³当たり家庭料金(円)**
-	45.55	38.36	92.29	3,710

人口（人）	面積(km²)	人口密度(人/km²)
41,944	150.98	277.81
処理区域内人口(人)	**処理区域面積(km²)**	**処理区域内人口密度(人/km²)**
16,030	13.29	1,206.17

グラフ凡例
- ■ 当該団体値（当該値）
- ー 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和5年度全国平均

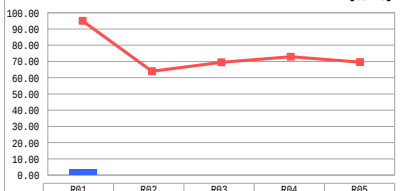
1．経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)　【105.09】



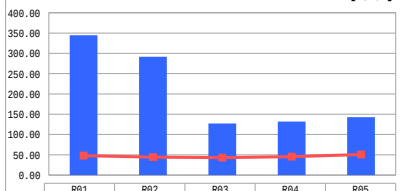
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	111.20	113.98	110.82	114.32	118.19
平均値	102.73	105.78	106.09	106.44	107.11

②累積欠損金比率(%)　【65.73】



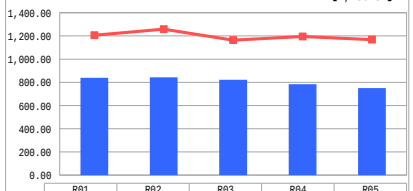
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	3.22	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	94.97	63.96	69.42	72.86	69.54

③流動比率(%)　【48.91】



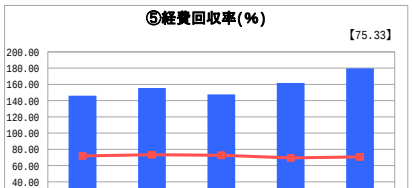
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	344.59	291.37	127.18	131.89	142.81
平均値	47.72	44.24	43.07	45.42	50.63

④企業債残高対事業規模比率(%)　【1,156.82】



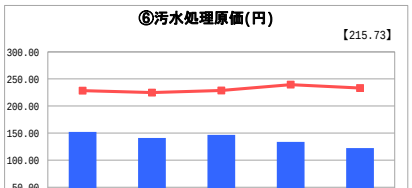
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	838.81	842.52	821.71	784.62	750.23
平均値	1,206.79	1,258.43	1,163.75	1,195.47	1,168.69

⑤経費回収率(%)　【75.33】



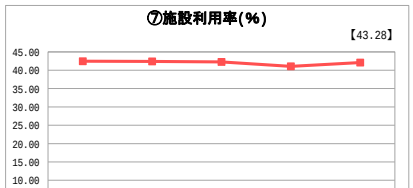
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	145.97	155.51	147.61	161.66	179.93
平均値	71.84	73.36	72.60	69.43	70.71

⑥汚水処理原価(円)　【215.73】



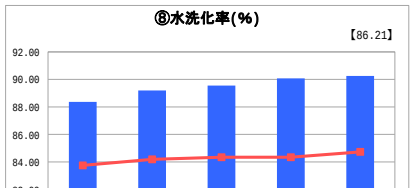
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	152.22	140.87	146.64	133.78	122.21
平均値	228.47	224.88	228.64	239.46	233.15

⑦施設利用率(%)　【43.28】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	-	-	-	-	-
平均値	42.47	42.40	42.28	41.06	42.09

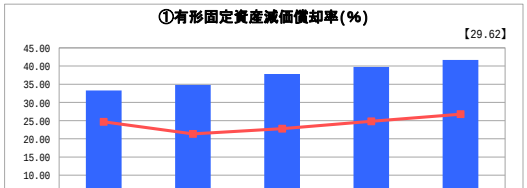
⑧水洗化率(%)　【86.21】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	88.37	89.20	89.55	90.07	90.25
平均値	83.75	84.19	84.34	84.34	84.73

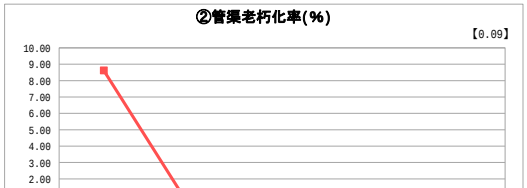
2．老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)　【29.62】



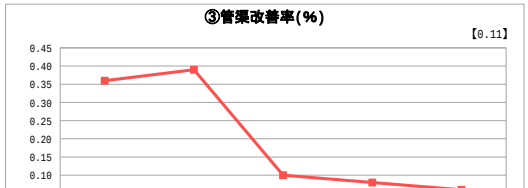
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	33.28	34.80	37.82	39.73	41.69
平均値	24.68	21.36	22.79	24.80	26.77

②管渠老朽化率(%)　【0.09】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	8.62	0.01	0.01	0.02	0.07

③管渠改善率(%)　【0.11】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	0.36	0.39	0.10	0.08	0.06

※　「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみの類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

分析欄

1．経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は100%を上回っており、経営状況は引き続き良好です。コミプラ処理区の統合を令和3年10月に実施して以降、使用料収入と営業外収益が増加したため、令和5年度も前年度に引き続き数値が上昇しました。
処理区域の統合事業により今後の収支は流動的ですが、人口減による使用料収入の減少や事業推進による費用の増加が見込まれるため、引き続き経費の節減に努める必要があります。
②累積欠損金比率は近年黒字が続いているため改善し、令和2年度に欠損金は解消されました。
③流動比率は、令和3年度にコミプラ処理区の統合事業の影響で大きく減少したものの、その後は安定した数値で推移しており、引き続き類似団体平均を上回っています。
④企業債残高対事業規模比率は引き続き類似団体平均を下回っており、適正な数値となっています。
⑤コミプラ処理区の統合以降、使用料収入等が増加しているため、前年度に引き続き数値は上昇し、経費回収率は引き続き100%を超えています。
⑥汚水処理原価は、コミプラ処理区の統合以降、年間有収水量が増加しており、令和5年度も前年度と比べて数値が改善し、引き続き類似団体平均を下回っています。
⑦当市には特定環境保全公共下水道の処理施設が無く、他市にある流域下水道の処理場を利用しているため、施設利用率は該当がありません。
⑧水洗化率については年々上昇し類似団体平均を上回っていますが、今後も引き続き水洗化の促進に努めます。

2．老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、類似団体平均と比べるとやや高く、令和5年度末で41.69%となっています。
よって、全体の残存価額は6割弱程度残っていることになります。
②管渠老朽化率は、管渠を比較的近年に整備したため、法定耐用年数を超えたものはありません。

全体総括

当市の特定環境保全公共下水道については、ほとんどの指標において類似団体平均よりも数値が良く、全体的に概ね良い状況を保っていると言えます。
現在、農業集落排水処理施設及びコミュニティ・プラント施設との統廃合事業を実施しており、当該管渠施設の移管を受ける等により、今後の経営状況は流動的になっていくことが予想されます。今後も引き続き経費の削減と水洗化の促進等による使用料収入の確保に取り組み、効率的で持続可能な下水道経営に努めます。